

令和5年度 第4回摂津市民図書館等協議会 要点録

日時：令和6年2月27日（火）

午後2時～午後4時

場所：摂津市民図書館3階大会議室

出席委員： 9名

欠席委員： 1名

事務局： 4名

案件：

(1) 市民図書館等モニタリング評価結果報告（令和5年度第3四半期）

(2) 令和6年度図書館事業計画案

(3) モニタリングチェックシート改定案

- (1) 市民図書館等モニタリング評価結果報告（令和5年度第3四半期）について
- (事務局) 市民図書館等モニタリング評価結果報告（令和5年度第3四半期）
- (委員) 4月から運営業者が変わるということだが、イベント等は引き継がれるのか。
- (事務局) 今回いただいたご意見も含め引継ぎを行っていく。
- (委員) 蔵書点検の回数を増やすことはできるのか。
- (事務局) 蔵書点検をするにあたり本の出入りを止めるため休館する必要がある。休館日を増やすと利用数が減少することになるので、難しいと思える。
- (委員) 蔵書点検等を職業体験のように参加できたり、市民巡回員のボランティアなどを行えば、本を大切に扱ってもらい啓発になるのでは。
- (事務局) いただいたご提案を引き継いでいく。
- (委員) 図書館の利用拡大に向けて、大人向けのイベントや、小中学生の見学をさらに増やしてほしい。
- (事務局) 図書館見学については、もっと積極的に呼びかけていきたい。
- (委員) 大型絵本のコーナーの本が詰まりすぎていて、取り出しにくい。
- (事務局) 書架整理の際には利用者が見やすく手に取りやすい状態にするよう、スタッフに徹底する。
- (委員) イベントの認知症マップ作りと介護相談タイアップは、よい企画と思うが、(相談がなかったことについては) 土日図書館が開いている利点を生かした支援の仕方があると思った。
- (事務局) 支援を必要としている方へもっと目を向ける事が足りていなかった。

広く支援を必要されとされている方のためになるような取り組みをできるよう検討する。

(委 員) ビブリオバトルは、年齢制限を設けなかった部分で躊躇した子もいると思う。夏休みの読書感想文と合わせて、学生向けのビブリオバトルがあればいいと思う。

(委 員) トイレの改修は引き続き検討してもらいたい。

(事務局) 予定ではあるが、令和6年度に設計を行い、翌年に工事ができればと考えている。

(委 員) 図書館でのレファレンス対応の基準があれば教えてもらいたい。

(事務局) 特定の担当者は決めておらず、質問を受けたスタッフが対応をし、対応しきれない場合は他のスタッフや責任者に対応してもらおうようにしている。

(委 員) レファレンスの情報の共有はどのようにしているのか。他市の話だが、一度した質問は後日には最初に対応した方以外にも共有がされていたことがあった。

(事務局) 日々の報告の中でレファレンスについても引継ぎがあるが、おそらくこのケースの場合は担当が当館の資料では答えが出なかったことで回答を完結させてしまったと考えられる。もう少し踏み込んでいくことを指導すべきだった。

(委 員) レファレンスでもスタッフごとに得意分野があると思うのでそれを利用者に見えるようにすれば質問しやすくなるのでは。

(事務局) 検討させていただく。

(委 員) 図書館システムの本の延長ページの表示がわかりにくい。

(事務局) 調べて対応する。

(委 員) 検索結果に表紙の写真があるものないものがあるが。

(事務局) GoogleBooksの画像を参照する仕組みになっているが、古い本には表示画像のデータがないものがあるので、表示できない。

(委 員) 保護者が子ども連れでイベントに参加しやすくするため託児については。

(事務局) 託児サービスについては資格が必要と思えるので、市内の関係各所に協力してもらい実施したい。

(委 員) 男女共同参画センターに子ども預けてゆっくり本を読む事業を実施しているので、参考にしてもらえれば。

(委 員) 図書館のイベントポスターを小中学校に掲示してもらえればどうか。

(事務局) 積極的に実施したい。

(委 員) ぬいぐるみのおとまり会に大人版を実施してほしい。SNSでの反響も大きいと思う。

(事務局) 引き継いでいきたい。

(委員) 図書館でおはなし会をしていることを知らない人も多い。発信方法をもっと考えるべきでは。様々な場に出ることで関係機関や対象者を結び付けてほしい。

(事務局) イベントアンケートなどで何を見て参加したか答える欄があるのでそれを確認していく。

(2) 令和6年度図書館事業計画案について

(事務局) ー令和6年度図書館事業計画案、新規行事等について説明ー

(委員) 職場体験や見学は実施するのか。

(事務局) 適時対応していく。

(3) モニタリングチェックシート改定案

(委員) 高齢者障がい者対応の箇所で「備品を用意」とあるが、どういうものがあるのか。

(事務局) リーディングトラッカーや拡大鏡、筆談ボード等が考えられる。

(委員) 評価の点数で、1点、2点の差がわかりにくい。

(委員) 施設管理の点であれば、汚れていたのが使用に支障をきたす状態かどうかで見極められると思うが、施設全体を見た時に一か所でもその状態であれば1点になるのか。人によってだめだと思う価値観が異なる。

(委員) 接遇サービスの項目で、研修を受けたこと自体ではなく、フィードバックできたことを報告してもらわないと評価にならないと思う。

(委員) 自分が受けたサービスに満足できたかできないかで評価を上げ下げして、具体的にどこがいけなかったのかを記入する、ということにすればどうか。

(事務局) ご意見を集約して次回の協議会で評価水準とチェックシートの完成としたい。